

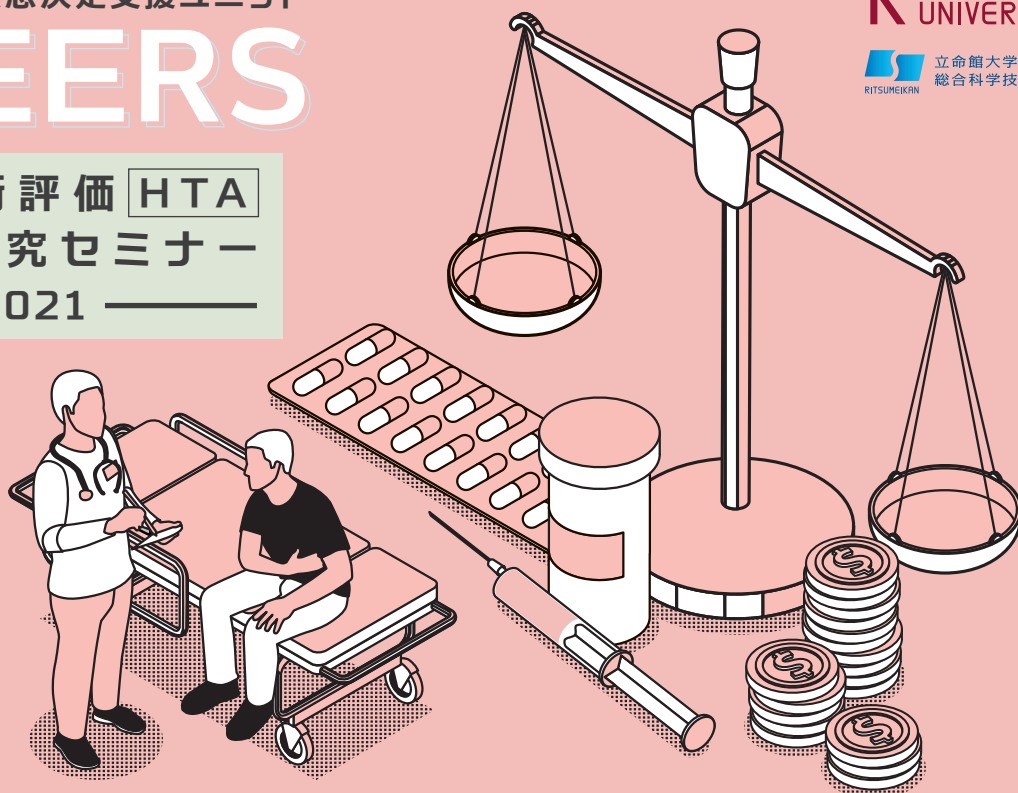
医療経済評価・意思決定支援ユニット

CHEERS

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

立命館大学
総合科学技術研究機構

医療技術評価 HTA
教育・研究セミナー
2021



このたびCHEERS*では、大学教育・研究者、医療従事者、大学院生、学部生、医薬品・医療機器企業担当者などを対象として、医薬品や医療機器に対する費用対効果評価の制度や手法について幅広く情報を収集し、議論できる場となるような教育・研究セミナーを開催いたします。

第1部のベーシックセミナーでは、費用対効果評価の基本的な方法についてCHEERSの研究者より解説いたします。第2部のアドバンスセミナーでは、国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター(C2H)の福田敬先生から費用対効果評価制度の概要と現状についてご講演を頂くとともに、これまでの公的分析の中で見えてきた課題や論点について議論を深めます。さらに特別講演では、1999年より英国のNICEが開始したHTAの取り組みにおいて、これまでEvidence Review Groupのメンバーとして従事されているシェフィールド大学のマシュー D. スティーブンソン先生をお迎えし、英国におけるHTAの現状と今後についてご講演を賜ります。

*総合科学技術研究機構 医療経済評価・意思決定支援ユニット(CHEERS: Comprehensive Unit for Health Economic Evidence Review and Decision Support)は、2019年4月に開設され、日本で新たに導入された医薬品・医療機器対象の費用対効果評価制度の公的分析実施機関に国内で初めて選定されました。

日時

2021年10月16日(土) 12:00-17:30

開場11:50

会場

オンライン(Zoomウェビナー)

参加費

無料

主催 立命館大学 総合科学技術研究機構 医療経済評価・意思決定支援ユニット(CHEERS) 後援 QOL-PRO研究会、ISPOR日本分会

参加お申し込み

参加ご希望の方は、WEB申込フォームよりご登録ください。

<https://bit.ly/cheers211016>



スマートフォンや
携帯電話からは
このQRコードで
アクセスできます。

<お問合せ先> CHEERS HTAセミナー事務局(TSO International株式会社内) 担当: 上原・平井 ✉ seminar@tso-int.co.jp

ベーシックセミナー 医療技術評価(HTA)の基本

12:00 開会挨拶 星野 絵里(CHEERS 准教授)

12:10 ① 追加的有用性をどう評価するのか

「システマティックレビューの基本と文献検索」

小嶋 智美(CHEERS 客員助教)

「システマティックレビューにおけるスクリーニングと統合の過程」

堺 琴美(CHEERS 専門研究員)

「リアルワールドデータは臨床試験に取って代わるか？」

酒井 未知(CHEERS 助教)

② 費用対効果をどう評価するのか

「費用対効果評価の概要」

下畑 宣行(CHEERS 准教授)

「モデルを用いた費用効果分析」

兼安 貴子(生命科学部 助教/CHEERS)

アドバンストセミナー 費用対効果評価の公的分析の積み重ねから見えてきた課題

13:40 開会挨拶 下妻 晃二郎(生命科学部 教授/CHEERS ユニット長)

三原 久明(生命科学部 教授/立命館大学総合科学技術研究機構 機構長)

13:50 「費用対効果評価制度の概要」

福田 敬(国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター センター長)

「評価における論点の紹介」

森脇 健介(CHEERS 准教授 / 副ユニット長)

特別発言

白岩 健(国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター 上席主任研究官)

16:00 特別講演 ※英語でのご講演となります。

「イングランドにおける医療技術評価 (HTA evaluation in England)」

マシュー D. スティーブソン 先生(シェフィールド大学 教授)

英国NICEの医術評価において、Evidence Review Groupの立場から、公的分析に従事するとともに、Appraisal Committeeの評価委員も務めており、費用対効果評価の教育・研究・政策応用にアカデミアの立場から多大な貢献をされてきた。

また、米国の医療技術評価機関である臨床経済評価研究所との協働のもと、世界に先駆けて脊髄性筋萎縮症に対するゾルゲンスマ(価格が1億円を超過する現在最も高額な医薬品)の費用対効果を分析、報告した研究者であり、同氏の考案したモデルリングや分析手法等は日本のみならず、諸外国におけるゾルゲンスマの評価過程にも大きな影響を与えており国際的に注目されている。



17:00 Q&A ※逐次通訳あり(日・英)

17:30 閉会挨拶 森脇 健介(CHEERS 准教授 / 副ユニット長)